

Panorama English Communication 2 年間指導計画／CAN-DO／評価規準例

月	Lesson 題材を通して 学ぶ内容	時間	Lesson CAN-DO スキル別単元目標 ★は各単元の重点指導スキル		主な学習活動							評価の観点 (Lesson CAN-DOに対応) ／○◎は主に指導するスキル、◎は単元内または後日記録に残す評価場面の例								
					コーナー	L	R	SI	SP	W	題材・場面・言語活動・言語材料	知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	Lesson 1 World Panoramas 【社会・文化】  世界の国や地域には、すばらしい風景や文化があることについて理解を深め、それぞれの持つ現代の課題について考える。		[L] 海外旅行に関係する会話を理解することができる。  [R] 世界の国々についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。  [SI (★)] 世界の国々や関連する話題についてやり取りすることができる。  [SP] メモを見ながら世界の国々について話すことができる。  [W] いくつか訪れたい場所について書くことができる。  [Target Task/ SI (★)] 自分の行きたい国とその理由についてやり取りすることができる。	導入	Warm-up	○			○			・ Aya と先生の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 自分の行ってみたい国や地域についてやり取りする。				[L]/[R] 関係詞や分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、世界の国々について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、世界の国々について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、世界の国々について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。		
				Part 1   4	Passage/New Words/Listening		○	○				Part 1: New York の特徴と社会課題について理解する。 Part 2: Kenya の特徴と環境問題について理解する。 Part 3: Bhutan の特徴とその社会変化について理解する。 Part 4: Australia の特徴と環境問題について理解する。						[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、世界の国々について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、世界の国々について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
					Key Ideas				○			・ 世界の国々についての説明文を読んで概要や要点を確認する。						[SI/SP] クラスメートにわかるように、世界の国々や自分が訪れたい場所について、これまでに学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、世界の国々や自分が訪れたい場所について、これまでに学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
					The Gist					○		・ 世界の国々についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。				[SI/SP] 関係詞や分詞構文を用いた文の構造を理解し、世界の国々や自分が訪れたい場所について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。			[SI/SP] クラスメートにわかるように、世界の国々や自分が訪れたい場所について、これまでに学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
					Think and Talk						○		・ 世界の国々の特徴や現代的課題についてやり取りする。						[W] クラスメートにわかるように、自分が訪れたい場所について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、自分が訪れたい場所について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
					Grammar							Part 1: 関係副詞 why/how の使い方を理解する。 Part 2: 関係代名詞 whose の使い方を理解する。 Part 3: 分詞構文 (現在分詞) の使い方を理解する。 Part 4: 分詞構文 (過去分詞) の使い方を理解する。				[W] 関係詞や分詞構文を用いた文の構造を理解し、自分が訪れたい場所について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。				
				単元の まとめ 活動	Comprehension Check		○	○			○	・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながら人物について説明する。	◎							
					Test Your Skills		○					◎	・ 姉妹校の生徒からボイスメッセージが届いたという場で、その内容をクラスで報告するために内容を聞いてメモする。 ・ 留学生がいるつもりで、行ってみたい国についてやり取りする。	◎	◎	◎	[SI★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合う技能を身に付けている。  [ループブリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]	[SI★] クラスメートや留学生と話し合いをする場面で、「行きたい国」について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、話して伝え合うやりとりを続けている。	[SI★] クラスメートや留学生と話し合いをする場面で、「行きたい国」について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、話して伝え合うやりとりを続けようとしている。	
					Language in Action						○	・ 本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 自分がいくつか訪れたい場所について書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SI)の評価は、後日パフォーマンス評価 (一人1分程度) で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。				
					Listening Tips		○				・ 音楽の聞き分けに気をつけながら、旅行先で想定される会話の内容を聞いて理解する。	◎								
					Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎						

5	Lesson 2 The World of Tea 【社会・文化】	様々な国のお茶の文化について理解を深め、日本固有の文化や習慣について考える。	[L] 日本文化についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○			・ Aya と Jim の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 茶道について知っていることについてやり取りする。				[L]/[R] 形式主語・助動詞+have+過去分詞・関係代名詞の継続用法・未来進行形を用いた文の意味や働きを理解し、お茶の文化について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、お茶の文化について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、お茶の文化について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。		
			[R] 世界のお茶の文化についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。		Passage/New Words/Listening	○	○			Part 1: 世界の国々でのお茶の消費について理解する。 Part 2: お茶の種類について理解する。 Part 3: 日本と海外の国々のお茶の文化について理解する。 Part 4: 現代におけるお茶の文化について理解する。				[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、お茶の文化について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、お茶の文化について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。				
			[SI] 飲み物に関する意見についてやり取りすることができる。		Key Ideas			○		・ 世界のお茶の文化についての英文を読んで概要や要点を理解する。				[SI/SP] クラスメートにわかるように、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。				
			[SP(★)] 絵や写真を見せながら世界のお茶の文化について話すことができる。		Part 1   4	The Gist			○		・ 世界のお茶の文化についての英文の要約をキーワードを使って完成する。				[W] 海外の人に日本に興味を持ってもらえるように、日本の文化について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝ええている。	[W] 海外の人に日本に興味を持ってもらえるように、日本の文化について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。			
			[W] 日本文化を紹介する文を書くことができる。			Think and Talk				○	・ お茶や飲み物に関する話題についてやり取りする。								
			[Target Task/SP(★)] 日本の文化について調べたことを発表することができる。			Grammar					Part 1: 形式主語 (It is ~ that...)の使い方を理解する。 Part 2: 助動詞+have+過去分詞の使い方を理解する。 Part 3: 関係代名詞の継続用法の使い方を理解する。 Part 4: 未来進行形の使い方を理解する。								
						Comprehension Check	○	○		○	・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながらお茶の文化について説明する。	◎							
								単元のまとめ活動	Test Your Skills	○				◎	◎	◎	[SP★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、日本の文化や観光名所について、情報や考え、気持ちなどを、適切に伝える技能を身に付けている。  【ルーブリック評価の観点例: 日本文化の説明に必要な語彙・文構造・文法の適切な使用]	[SP★] 海外の人に興味を持ってもらえるように、日本の文化や観光名所について、情報や考え、気持ちなどを、適切な語句や文を用いて話して伝ええている。  【ルーブリック評価の観点例: 日本の文化や観光名所についての説明の論理構成の適切さ]	[SP★] 海外の人に興味を持ってもらえるように、日本の文化や観光名所について、情報や考え、気持ちなどを、適切な語句や文を用いて話して伝えようとしている。  【ルーブリック評価の観点例: 説明をわかりやすくしようとする積極的態度]
					Language in Action						○	・ 本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 日本の文化のひとつについて説明文を書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (SP) の評価は、後日パフォーマンス評価 (一人1分程度) で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができていくかどうかを評価する。			
					Listening Tips	○						・ カタカナになった単語の発音と本来の英語の発音との違いに気をつけながら、飲み物に関する様々な場面での会話を聞いて理解する。	◎						
	Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。				◎								
			[L] 睡眠や健康的な習慣についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○			・ Ryo と Jim の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 就寝時間についてやり取りする。				[L]/[R] S+V (知覚動詞) +O+C (現在分詞/過去分詞)・形式目的語 it・疑問	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。		

6	Lesson 3 Sleep 【生活・自然科学】	睡眠について理解を深め、よい睡眠をとるにはどうすべきかについて考える。	<p>[R(★)] 睡眠についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。</p> <p>[SI] 睡眠や健康的な習慣についてやり取りすることができる。</p> <p>[SP] 絵や写真を見せながら睡眠の段階について話すことができる。</p> <p>[W] 気になる他人の習慣について書くことができる。</p> <p><b>[Target Task/R(★)]</b> 目的に合った商品を選ぶために広告の内容を読み取ることができる</p>	Part 1   4	Passage/New Words/Listening <div>○</div> <div>○</div>	Key Ideas <div></div> <div>○</div>	The Gist <div></div> <div>○</div>	Think and Talk <div></div> <div>○</div>	Grammar <div></div> <div></div>	Comprehension Check <div>○</div> <div>○</div> <div>○</div>	単元のまとめ活動	Test Your Skills <div>○</div> <div>◎</div>	Language in Action <div></div> <div></div> <div>○</div>	Listening Tips <div>○</div> <div></div> <div></div>	Check Your Progress <div></div> <div></div> <div></div>	Part 1: 人間や動物の睡眠について理解する。 Part 2: 眠りの段階と夢について理解する。 Part 3: 睡眠と健康の関係について理解する。 Part 4: よい睡眠をとる方法について理解する。	・睡眠についての説明文を読んで概要や要点を理解する。	・睡眠についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。	・睡眠や夢に関係する身近な話題についてやり取りする。	Part 1: S + V (知覚動詞) + O + C (現在分詞) の使い方を理解する。 Part 2: S + V (知覚動詞) + O + C (過去分詞) の使い方を理解する。 Part 3: 形式目的語 it + to不定詞/that節の使い方を理解する。 Part 4: 疑問詞 + do you think ~? の使い方を理解する。	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながら睡眠や夢について説明する。	・短期留学先の生徒からの留守番電話メッセージを聞いてメモする。 ・健康に関する商品の広告を読んで内容を整理しながらメモする。	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・多くの人が習慣的にしていることについて書く。	・子音の聞き取りに気をつけながら、健康的な習慣についての人々の話を聞いて理解する。	・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。	詞 + do you think ~? を用いた文の意味や働きを理解し、睡眠について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[SI/SP] S + V (知覚動詞) + O + C (現在分詞/過去分詞) ・形式目的語 it ・疑問詞 + do you think ~? を用いた文の意味や働きを理解し、睡眠について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[W] S + V (知覚動詞) + O + C (現在分詞/過去分詞) ・形式目的語 it ・疑問詞 + do you think ~? を用いた文の意味や働きを理解し、睡眠に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、睡眠に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、睡眠に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[R★] 読んだ内容について他の人に伝えるために、健康器具についての広告を読んで、概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、睡眠に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、睡眠に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[R★] 読んだ内容について他の人に伝えるために、健康器具についての広告を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。	
---	--------------------------------	-------------------------------------	--	------------------	---	------------------------------------	-----------------------------------	---	---------------------------------	--	----------	--	---	---	---	--	----------------------------	-------------------------------	----------------------------	--	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	--	--	---	---	--	--	--	--

7	Lesson 4 Biomimetics 【生活・自然科学】	バイオミメティクスについて理解を深め、自然や生物から人間が何を学べるかについて考える。	<p>[L(★)] バイオミメティクスについての会話や説明を理解することができる。</p> <p>[R] バイオミメティクスについての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。</p> <p>[SI] バイオミメティクスについてやり取りすることができる。</p> <p>[SP] 絵や写真を見せながらバイオミメティクスについて話すことができる。</p> <p>[W] 未来の発明品を想像して書くことができる。</p> <p>[Target Task/L(★)] 科学に関するニュースを聞いて情報を整理することができる。</p>	導入	Warm-up	○		○		・Jimと先生との会話を聞いて内容を理解する。 ・自然の持つすぐれた点についてやり取りする。				[L]/[R] 進行形の受動態・現在完了形の受動態・無生物主語・関係副詞 where/whenの継続用法を用いた文の意味や働きを理解し、バイオミメティクスについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、バイオミメティクスについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、バイオミメティクスについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
				Part 1   4	Passage/New Words/Listening	○	○			Part 1: バイオミメティクスとは何かについて理解する。 Part 2: バイオミメティクスの具体例について理解する。 Part 3: バイオミメティクスとナノテクノロジーの関係について理解する。 Part 4: バイオミメティクスと持続可能な社会について理解する。				[SI]/[SP] 進行形の受動態・現在完了形の受動態・無生物主語・関係副詞 where/whenの継続用法を用いた文の構造を理解し、バイオミメティクスに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、バイオミメティクスについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、バイオミメティクスについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。
					Key Ideas		○			・バイオミメティクスについての説明文を読んで概要や要点を理解する。						
					The Gist		○			・バイオミメティクスについての説明文の要約をキーワードを使って完成する。						
					Think and Talk			○		・バイオミメティクスに関する話題についてやり取りする。						
					Grammar					Part 1: 進行形の受動態の使い方を理解する。 Part 2: 現在完了形の受動態の使い方を理解する。 Part 3: 無生物主語の使い方を理解する。 Part 4: 関係副詞where/whenの継続用法の使い方を理解する。						
					Comprehension Check	○	○		○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながらバイオミメティクスについて説明する。	◎					
				単元のまとめ活動	Test Your Skills	◎				・海外の姉妹校の先生からのメッセージ動画の音声聞いて内容をメモする。 ・授業の課題としてのグループ発表のために、ある研究に関するニュース動画の音声聞いて情報を整理してメモする。	◎	◎	◎	[L★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、研究に関する説明を聞いて、内容を理解する技能を身に付けている。	[L★] グループ発表の準備として、研究に関するニュース動画の説明を聞いて、概要や要点を捉えている。	[L★] グループ発表の準備として、研究に関するニュース動画の説明を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。
					Language in Action				○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・現代の問題解決につながる発明品を想像して書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (L)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		
					Listening Tips	○				・よく使われる表現や決まり文句の「チャック」の聞き取りに気をつけながら、自然界に学んだ科学技術に関する英文を理解する。	◎					
					Check Your Progress					・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			

第1学期の評価（中間考査・期末考査・パフォーマンス評価）						知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中間・期末考査	◎						◎			短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。	
		◎				◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
		◎					◎			英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。	
				◎			◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。
パフォーマンステスト （中間・期末考査の前後もしくは別の時期に実施）			◎				◎	◎		与えられた課題に対して自分の考えや気持ちを明確に述べている。	お互いに協力しながら1分以上やりとりを継続している。
小テスト				◎		◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
課題・提出物	◎						◎	◎		与えられた課題に対して、ニュースの概要や要点を適切に捉えて情報を整理している。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。

9	Lesson 5 Table for Two 【人間・ドラマ】	物語の流れを追いつながら、 2人の登場人物の心情や話の展開を想像する。	[L] 実話についての会話や説明を理解することができる。  [R] 実話に基づく物語の概要や要点、詳細を理解することができる。  [SI] 物語の流れや登場人物の心情についてやり取りすることができる。  [SP] 絵や写真を見せながら物語のあらすじを話すことができる。  [W(★)] 困難なことに取り組んだ思い出について書くことができる。  [Target Task/W(★)] ディベートの準備として自分の意見を論理的に書くことができる。	導入	Warm-up	○		○			・ Aya と先生の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 今まで聞いたことのある感動する話についてやり取りする。				[L]/[R] 間接疑問、複合関係詞、仮定法過去完了を用いた文の構造を理解し、物語について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えようとしている。
				Part 1   4	Passage/New Words/Listening	○	○			Part 1: 物語の場面設定と登場人物について理解する。 Part 2: 2人の出会いと出会った時の心情を理解する。 Part 3: 2人の間に起きた事件とその時の心情を理解する。 Part 4: 物語の流れを追いながら2人の心情を想像する。					[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えようとしている。	
					Key Ideas			○			・ 物語を読んで、登場人物の行動や出来事についての概要や要点を確認する。					[SI/SP] クラスメートにわかるように、実話に基づく物語について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、実話に基づく物語について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしようとしている。
					The Gist			○			・ 物語の概要をキーワードを使って完成する。					[W] 読み手に理解してもらえるように、困難なことに取り組んだ思い出について、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、困難なことに取り組んだ思い出について、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
					Think and Talk				○		・ 物語の内容や登場人物の心情についてやり取りする。						
					Grammar						Part 1: if/whetherを用いた間接疑問の使い方を理解する。 Part 2: 複合関係代名詞の使い方を理解する。 Part 3: 複合関係副詞の使い方を理解する。 Part 4: 仮定法過去完了の使い方を理解する。						
				単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながら物語の内容について説明する。	◎					
					Test Your Skills	○				◎	・ 自分が同じテーマでディベートをする際の参考とするために「電子書籍か紙の書籍か」についてのディベートの一部を聞いて、内容をメモする。 ・ ディベートの準備として、「電子書籍か紙の書籍か」について自分の意見を書く。	◎	◎	◎	[W★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、「電子書籍か紙の書籍か」についての自分の意見を、適切に書いて伝える技能を身に付けている。  [ループリッック評価の観点例: 意見を述べるために必要な語彙・文構造・文法の適切な使用]	[W★] ディベートの準備として、説得力のある表現や論理構成を用いて「電子書籍か紙の書籍か」についての自分の意見を書いている。  [ループリッック評価の観点例: 意見と理由、根拠のつながりの論理的整合性]	[W★] ディベートの準備として、説得力のある表現や論理構成を用いて「電子書籍か紙の書籍か」についての自分の意見を書くこととしている。  [ループリッック評価の観点例: 指定された内容を最後まで書くこととする積極的態度(書いた英文の量)]
					Language in Action					○	・ 本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 困難なことに取り組んだ思い出について書く。	◎				[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。	
					Listening Tips	○					・ 「消える音」に気をつけながら、Takuyaの体験談を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			

10	Lesson 6 Yusra Mardini 【人間・ドラマ】	ユスラさんの体験やメッセージについての理解を深め、難民問題について考える。	<p>[L] 難民問題についての会話や説明を理解する。</p> <p>[R (★)] 人物の体験に関する英文の概要や要点、詳細を理解する。</p> <p>[SI] 人物の体験や関連する社会問題についてやり取りする。</p> <p>[SP] 絵や写真を見せながら人物の体験について話す。</p> <p>[W] 世界で困っている人々のことについて書く。</p> <p>[Target Task/R(★)] 社会的な話題についての新聞記事を読んで情報を整理することができる。</p>	導入	Warm-up	○		○			・ Ryoと先生の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 難民について知っていることについてやり取りする。				[L]/[R] 前文の内容を受けるwhich, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、難民問題や難民としての体験について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について話された内容の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について話された内容の概要や要点を捉えようとしている。
				Part 1   4	Passage/New Words/Listening	○	○				Part 1: ユスラさんの置かれた状況について理解する。 Part 2: 2015年にユスラさんが経験したことを理解する。 Part 3: ユスラさんの人生の転機について理解する。 Part 4: ユスラさんの活躍の内容について理解する。				[SI/SP] 前文の内容を受けるwhich, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、難民問題や難民の置かれた状況などについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。  [W] 前文の内容を受けるwhich, 独立分詞構文、時・条件の副詞節、前置詞＋関係代名詞を用いた文の構造を理解し、世界で困っている人々や問題を抱えている国について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について書かれた文章の概要や要点を捉えている。  [SI/SP] クラスメートにわかるように、読んだ実話の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。  [W] 読み手に理解してもらえように、世界で困っている人々や問題を抱えている国について、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、難民問題や難民としての体験について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。  [SI/SP] クラスメートにわかるように、読んだ実話の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。  [W] 読み手に理解してもらえように、世界で困っている人々や問題を抱えている国について、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。
					Key Ideas			○			・ ユスラさんの体験や主張の概要や要点を確認する。						
					The Gist			○			・ ユスラさんの体験や主張をキーワードを使って完成する。						
					Think and Talk				○		・ ユスラさんの体験や難民問題についてやり取りする。						
					Grammar						Part 1: 前文の内容を受けるwhichの使い方を理解する。 Part 2: 独立分詞構文の使い方を理解する。 Part 3: 時・条件の副詞節の使い方を理解する。 Part 4: 前置詞＋関係代名詞の使い方を理解する。						
					Comprehension Check	○	○		○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながらユスラさんの体験を説明する。	◎					
				単元のまとめ活動	Test Your Skills	○	◎				・ 姉妹校訪問中の特別授業の内容についての説明を聞いてメモする。 ・ 難民問題についての発表のために、インターネットの記事を読んでその概要を書く。	◎	◎	◎	[R★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、難民問題について書かれた記事を読んで概要や要点を理解する技能を身に付けている。	[R★] 難民問題について発表するために、インターネットの記事の概要や要点を理解している。	[R★] 難民問題について発表するために、インターネットの記事の概要や要点を理解しようとしている。
					Language in Action					○	・ 本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 世界で困っている人々や問題を抱えている国について、その解決策を含めて簡潔に書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		
					Listening Tips	○					・ 変化する音に気をつけながら、日常的な会話で相手の話しかけの意図聞き取り適切に応答する。	◎					
					Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			



11	Lesson 7 Social Media and Communication 【ITと人間】	SNSが人間の コミュニケーションや英語 に及ぼす影響 について理解 を深め、SNS の課題や利点 について考える。	[L] ソーシャルメディアについての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○			・Aya と Jimの会話を聞いて内容を理解する。 ・友人とコミュニケーションをとる手段の好みについてやり取りする。				[L]/[R] 付帯状況を表すwith・I wish+仮定法過去・部分否定・S+V+C (that節)を用いた文の意味や働きを理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
			[R] ソーシャルメディアについての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。		Passage/New Words/Listening	○		○			Part 1: コミュニケーションの方法が時代とともに変化してきたことを理解する。 Part 2: 科学技術がコミュニケーションに与えた影響を理解する。 Part 3: オンラインコミュニケーションが人間関係や言語に与える影響について理解する。 Part 4: ソーシャルメディアの課題や利点について理解する。				[SI]/[SP] 付帯状況を表すwith・I wish+仮定法過去・部分否定・S+V+C (that節)を用いた文の構造を理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。
			[SI] ソーシャルメディアとコミュニケーションについてやり取りすることができる。		Key Ideas			○			・ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する説明文を読んで概要や要点を理解する。					[SI]/[SP] クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI]/[SP] クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。
			[SP] 絵や写真を見せながら絵や写真を見せながらソーシャルメディアの影響について話すことができる。		The Gist			○			・ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する説明文の要約をキーワードを使って完成する。					[W] 読み手に理解してもらえるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝える。	[W] 読み手に理解してもらえるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
			[W(★)] ソーシャルメディアの良い点・悪い点について書くことができる。		Think and Talk				○		・ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題についてやり取りする。						[W] 読み手に理解してもらえるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
			[Target Task/W(★)] ソーシャルメディアの良い点・悪い点を事例とともに書くことができる。		Grammar						Part 1: 付帯状況を表すwithの使い方を理解する。 Part 2: I wish+仮定法過去／過去完了の使い方を理解する。 Part 3: 部分否定の使い方を理解する。 Part 4: S+V (=be動詞)+C (that節)の使い方を理解する。						[W★] 読み手に理解しやすいように、ソーシャルメディアの良い点・悪い点を事例とともに書いて伝える。
				単元のまとめ活動	Comprehension Check	○		○		○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながらSNSが人間のコミュニケーションや英語に与えた影響について説明する。	◎			[W★] これまで学んだ語彙や文法を活用して、社会的な話題について、良い点悪い点を事例とともに書いて伝える技能を身に付けている。	[W★] 読み手に理解しやすいように、ソーシャルメディアの良い点・悪い点を事例とともに書いて伝えようとしている。	[W★] 読み手に理解しやすいように、ソーシャルメディアの良い点・悪い点を事例とともに書いて伝えようとしている。
					Test Your Skills	○					・姉妹校の先生から与えられたオンライン授業の課題についての説明を聞いてメモする。 ・ソーシャルメディアの良い点・悪い点を事例とともに書く。	◎	◎	◎	[ループリック評価の観点例: 良い点・悪い点を対比的に論じるのに必要な語彙・文構造・文法の適切な使用]	[ループリック評価の観点例: 良い点・悪い点およびその事例について論じる際の論理構成の適切さ]	[ループリック評価の観点例: 主張を最後まで書こうとする積極的態度(書いた英文の量)]
					Language in Action					○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ソーシャルメディアのメリット・デメリットについて書く。	◎			〔備考〕 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedback を通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		
					Listening Tips	○					・前置詞などの機能語の聞き取りに気をつけながら、会話を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress						・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			



11・12	Lesson 8 People and Robots 【人間とロボット】	人間とロボットの関係について理解を深め、両者の関係のあり方について考える。	[L] 人間とロボットの関係についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○				・ Ryo と Jim の会話を聞いて内容を理解する。 ・ どのようなロボットが欲しいかについてやり取りする。				[L]/[R] suggestに続くthat節・動名詞の意味上の主語・if節に代わる表現・未来完了形を用いた文の意味や働きを理解し、人間とロボットの関係について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
			[R] 人間とロボットの関係についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。		Passage/New Words/Listening	○	○				Part 1: "robot"の語源とロボット技術の進展について理解する。 Part 2: セラビーロボットの役割について理解する。 Part 3: アバターロボットとは何かについて理解する。 Part 4: 将来のロボットに求められる役割について理解する。				[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。		
			[SI]人間とロボットの関係についてやり取りすることができる。		Key Ideas			○			・ 人間とロボットの関係についての説明文を読んで概要や要点を理解する。				[SI/SP] suggestに続くthat節・動名詞の意味上の主語・if節に代わる表現・未来完了形を用いた文の構造を理解し、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
			[SP(★)]絵や写真を見せながら人間とロボットの関係について話すことができる。		The Gist			○			・ 人間とロボットの関係についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。				[W] 読み手に理解してもらえるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えていく。	[W] 読み手に理解してもらえるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えていく。	[W] 読み手に理解してもらえるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えていく。	
			[W] 新しいロボットの開発提案について書くことができる。		Think and Talk					○	・ ロボットに關係する身近な話題についてやり取りする。							
			[Target Task/SP(★)] 未来のロボットについてプレゼンテーションをすることができる。		Grammar						Part 1: suggestに続くthat節の使い方を理解する。 Part 2: 動名詞の意味上の主語の使い方を理解する。 Part 3: if節に代わる表現の使い方を理解する。 Part 4: 未来完了形の使い方を理解する。							
					Comprehension Check	○	○		○	・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながらロボットと人間の関係について説明する。	◎							
					Test Your Skills	○				◎	・ 姉妹都市交流イベントについてのオンライン会議の内容を聞いて、必要な情報をメモする。 ・ 新しいロボット開発の提案について絵を用いてプレゼンテーションをする。	◎	◎	◎	[SP★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、新しいロボット開発の提案について絵を用いてプレゼンテーションをする技能を身に付けている。  [ルーブリック評価の観点例: ロボット開発の説明に必要な語彙・文構造・文法の適切な使用]	[SP★] 聞き手にわかるように、新しいロボット開発の提案について絵を用いてプレゼンテーションをしている。  [ルーブリック評価の観点例: ロボット開発の説明における論理構成の適切さ]	[SP★] 聞き手にわかるように、新しいロボット開発の提案について絵を用いてプレゼンテーションをしようとしている。  [ルーブリック評価の観点例: 説明をわかりやすくしようとする積極的態度]	
					Language in Action					○	・ 本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 新しいロボットの開発について書く。	◎			[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SP)の評価は、後日パフォーマンス評価 (一人1分程度) で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。			
					Listening Tips	○					・ 英語を聞いて自分のリスニングの弱点について分析する。	◎						
					Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎				

第2学期の評価（中間考査・期末考査・パフォーマンス評価）						知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中間・期末考査	◎						◎			短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。	
		◎				◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
		◎					◎			英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。	
				◎			◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。
パフォーマンステスト （中間・期末考査前後もしくは別の時期に実施）				◎			◎	◎		与えられた課題に対して自分の考えや気持ちを明確に述べている。	1分間聞き手にわかるように、できるだけメモに頼らず発表しようとしている。
小テスト				◎		◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法・文構造の使い方を理解している。		
課題・提出物		◎					◎	◎		授業中の、まとまった内容の英文を読む活動において、概要・要点・意図を理解している。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。





第3学期の評価（学年末考査・パフォーマンス評価）						知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学年末考査	◎				リスニング問題（概要・要点・意図）		◎			短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。	
		◎			リーディング問題（語彙・文法）	◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
		◎			リーディング問題（概要・要点・意図・論理構成）		◎			英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。	
				◎	課題作文問題		◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。
パフォーマンステスト （学年末考査前後もしくは別の時期に実施）			◎		予め5つの社会的な論題を指定し、その場でひとつ指定された論題について、1分間で話し合いを継続する。（L10のゴールタスクの応用）		◎	◎		指定された論題について自分の意見を述べるとともに相手の発言に応じて会話を継続・発展させている。	相手に協力的な態度で接している。
小テスト				◎	場面に応じた会話完成問題 単文レベルの英作文問題	◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
課題・提出物				◎	振り返りシート＋課題： Lesson 9 のゴールタスク（ディスカッションにおける主な争点をメモする）への取り組みについての振り返りシートの記述と、活動への取り組み状況の評価		◎	◎		与えられた課題に対して的確に論点を整理しメモを書いている。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。